

## 児童との対話例

～「〇〇したいけど、どうすればいい？」と尋ねられたとき～  
どうやればできるか一緒に考えてみよう  
まず最初にどうしたいの？（やりたいことを順に説明させる）

\*NG\*

できないよ（はねのける）  
こうすればできるよ（答えを簡単に与えてしまう）

～生徒が作ったプログラムの実行結果に対して～  
どうプログラムしたの？（たずね、説明をうながす）  
〇〇なところがユニークだね。他は？（認めるが、満足しない）  
次は△△できるようチャレンジしてみたらどう？（ステップアップを促す）

\*NG\*

すごいね（一方向で完結してしまう。あいまい）

～生徒が理解しているか確認するとき～  
よくわからないと思う人は手をあげてください  
ここは分かったから次に進んでいい、という人は手をあげてください（重要なポイントの場合）

\*NG\*

ここまでで、何か質問はありますか？（何を聞いてよいかわからない）

～NGワード～

「まだ〇年生だから難しいかな」「さっきも説明したよ」「やっぱり男の子（女の子）だね」「あっちの生徒はできてるよ」「〇〇得意？（できる？）」

～注意点～

生徒のマウスをなるべく操作しないようにする（スピードが求められるトラブルシューティングを除く）  
教えやすい方向に誘導しない  
生徒の考えを先読みして「こういうことだね」と口に出さない